
平成30年度 コンプライアンス報告書

一般財団法人 札幌市交通事業振興公社

目次

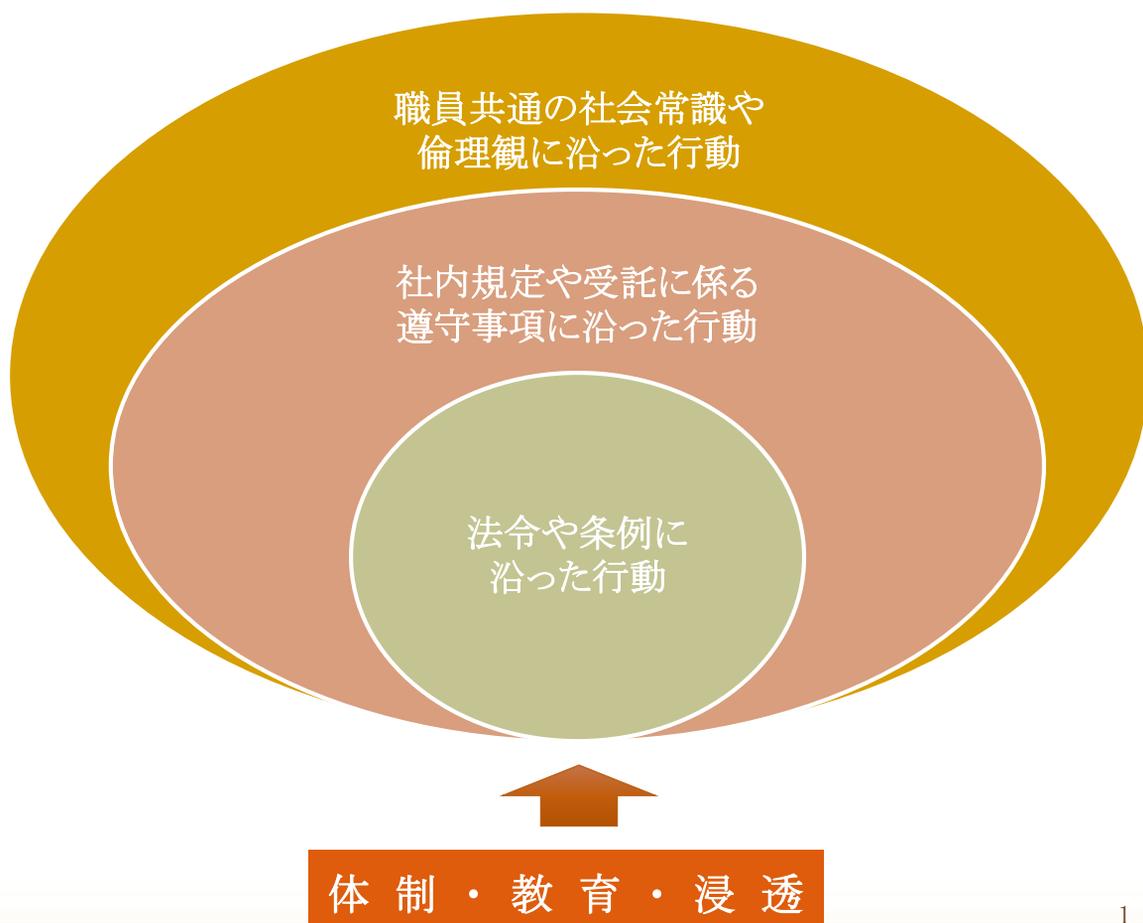
▶ <u>当社が目指すコンプライアンス</u>	<u>1</u>
▶ <u>コンプライアンス推進体制</u>	<u>2</u>
▶ <u>体制</u>	<u>3～5</u>
・ コンプライアンス委員会	
・ 当社法律顧問弁護士からの助言、指導	
・ そうだんホットライン	
・ 担当者のスキルアップ	
・ コンプラマイスター養成講座	
▶ <u>教育</u>	<u>6～7</u>
・ 新規採用職員コンプライアンス研修	
・ コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修	
▶ <u>浸透</u>	<u>8～9</u>
・ コンプラ通信	
・ コンプライアンスポスター	
・ コンプラブック	
・ コンプライアンスカード	
・ コンプライアンス報告書	

当社が目指すコンプライアンス

- 当社が目指すコンプライアンスとは、法令、条例等及び社内規程や受託業務に係る遵守事項に加え、倫理その他の社会規範を遵守することで『**経営理念の実現を目指す**』ことです。
- 「体制・教育・浸透」の3つのキーワードのもと、コンプライアンス確立のために各種取組みを実施し、お客様から信頼される企業として、持続的発展を目指すことを目的としています。

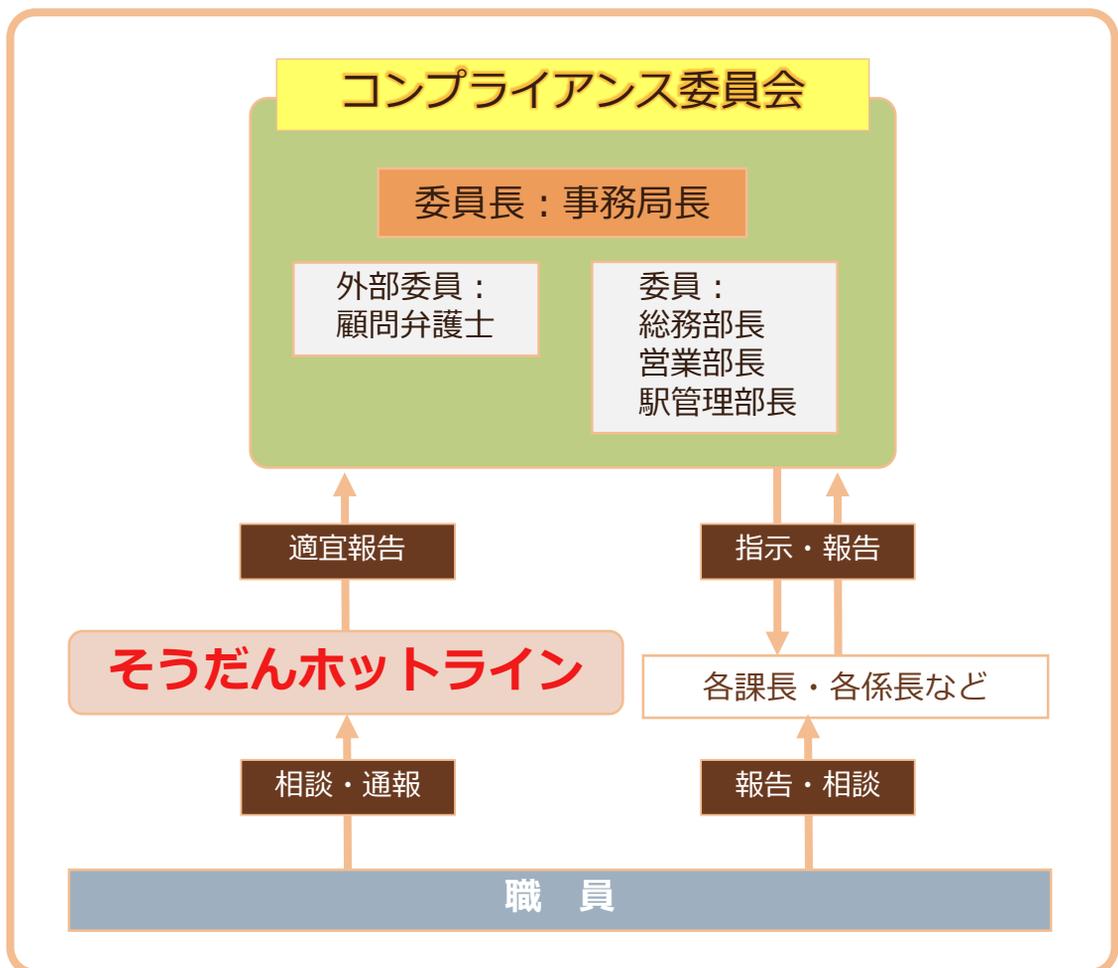
『経営理念』

私たちは、安全を第一とし、真心をこめたサービスを提供し、お客様から信頼される企業として、豊かな社会づくりに貢献します。



コンプライアンス推進体制

- 当社のコンプライアンス活動は、コンプライアンス委員会で審議された内容に基づき実施しています。
- コンプライアンス委員会には、全三部の部長が委員として参加しており、そこで審議された内容を各部において実践していくことで、会社一丸となったコンプライアンスの確立を目指しています。



体制 [system]

◆ コンプライアンス委員会

- コンプライアンス委員会では、当公社におけるコンプライアンス体制を確立するために実施する啓発活動等について審議しています。
- 平成30年度は、これまでの取組みの維持向上を図るとともに、さらなるコンプライアンス体制の強化に向け、各部のコンプライアンス推進者の育成について審議しました。

～第1回～ 平成30年5月16日開催

- ・平成29年度コンプライアンス報告書について
- ・コンプラマイスター養成講座とコンプラリーダーについて

～第2回～ 平成30年6月17日開催

- ・当公社におけるコンプライアンス違反事案について

～第3回～ 平成30年10月10日開催

- ・コンプライアンス研修について
- ・コンプライアンスカードについて
- ・コンプライアンス違反事象の最近の動向について



～第4回～ 平成31年3月19日開催

- ・平成30年度におけるコンプライアンスの取組みについて(年次報告)
- ・コンプラリーダーの任命及び活動方針について

◆ 当公社法律顧問からの助言・指導

- 当公社では、法律事務所と法律顧問契約を締結し、業務における法律相談、コンプライアンス委員への就任、相談窓口の外部窓口、コンプライアンスの取組みに関する助言をいただくなど、当公社におけるコンプライアンス体制の中で重要な役割を果たしています。

◆ そうだんホットライン

- 働きやすい職場づくり及び健全な事業運営を図ることを目的として、これまで設置していた相談窓口を一新し、「そうだんホットライン」を開設しています。
- そうだんホットラインでは、「コンプライアンスに関すること」、「ハラスメントに関すること」、「メンタルヘルスに関すること」について相談を受け付けています。また、そうだんホットラインの存在を職員に広く周知するため、「そうだんホットラインポスター」を作成し、各職場に掲出しています。



そうだんホットライン理念

- 一、相談のしやすさを一番に考えます。
- 一、中立な立場で、公平に話を聴きます。
- 一、秘密は絶対に漏らしません。
- 一、迅速に対応します。

◆ 担当者のスキルアップ

コンプライアンスに関する各種セミナーへの参加

- 相談窓口担当者として、幅広くコンプライアンスに関する知識向上を図るために、各種セミナーへ参加しました。今後も継続して窓口担当者のスキルアップを図ってまいります。

◆ コンプライマスタ―養成講座

- コンプライアンスをより一層浸透させるためには、現場が主体となってコンプライアンスを推進していく必要があると考え、係長や課長など管理監督者を対象とした「コンプライマスタ―」という社内資格を設けました。
- ハラスメント問題の現状や正しい指導の仕方など、多岐に渡るコンプライアンスに関する知識の習得を目指し、外部講師を招いてコンプライマスタ―養成講座を実施しました。

研修内容

- コミュニケーション研修
- 分かりやすい伝え方研修
- コンプライアンス・リスクマネジメント研修
- ハラスメント・メンタルヘルス研修
- アサーション・カウンセリング研修



教 育 [training]

◆ 新規採用職員コンプライアンス研修

平成30年度入社職員(4月・10月)

- 新規採用職員は、早い段階でコンプライアンスを認識することが重要と考え、入社直後の教習の中でコンプライアンスに係る研修を実施しています。
- 研修では、コンプラブック※を配布し、コンプライアンスの重要性及び当会社のコンプライアンスの取組み、そうだんホットラインについて説明を行いました。

※ コンプラブックについては9ページ参照

研修内容

- コンプライアンスを学ぶ前に～社会人としての倫理観について～ ※
- 社会人としての自覚を持った行動について
- 当会社におけるコンプライアンスの取組みについて
- そうだんホットラインについて

※ 10月の研修時から実施



◆ コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修

平成30年度 全職員(10月・11月)

- 当会社では、コンプライアンスマインドの醸成と不祥事の未然防止、働きやすい職場環境や良好な人間関係を構築することを目指して、毎年、コンプライアンス研修を実施しています。
- コンプライアンス研修に併せて、幅広く情報漏えいに関する知識や対策を学ぶための情報セキュリティ研修を全職員対象として実施しました。

研修内容

コンプライアンス研修

- コンプライアンスを学ぶ前に(社会人としての倫理観について)
- 当会社にとってのコンプライアンスとは
- 事例研究(これって違法なの?)
- ハラスメントについて
- コミュニケーションについて

情報セキュリティ研修

- 情報セキュリティとは(当社が扱う情報、事例紹介)
- 職場でのリスク管理
- SNS利用上の注意点



浸透 [penetration]

◆ コンプラ通信

- 毎月1回、職員向けに最近のニュースや他社事例などをイラストを取り入れて紹介し、コンプライアンスをより意識してもらえるような内容としました。



◆ コンプライアンスポスター

- 当会社では、コンプライアンスマインドを持った行動ができる職員の育成を目指し、その啓発活動の一環として、コンプライアンスポスターを各職場に掲出しています。平成30年度は「どれがコンプライアンス違反!？」というコンプライアンス全般に関するテーマで視覚的に訴えかけることにより、職員のコンプライアンス意識の醸成を図りました。



◆ コンプラブック

- 当会社では、社会常識や倫理観に対する認識の統一を図る手段の一つとして、コンプラブックを作成し全職員へ配布しています。さらに、当ブックを研修等で活用することで、職員のさらなるコンプライアンス意識の啓発を図っています。



◆ コンプライアンスカード

- 当会社では、職員のコンプライアンス意識を向上させるため、コンプライアンスカードを作成し、全職員へ配布しています。



発行 令和元年5月
一般財団法人 札幌市交通事業振興公社
総務部総務課 法務・コンプライアンス係